



尾張旭ロータリークラブ

「例会は親睦なり、深めよう親睦！」

Weekly

会長 井田 武憲
幹事 桜井 雅博
会報 古橋 裕志
事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
E-mail: owarisahi@mte.ki-globe.ne.jp
URL: http://www.owariasahi-rc.jp/

ふれあい、思いやり、そして握手

本日 第2032回 2012年10月26日(金) No. 1922

本日のプログラム Today's Program

点 鐘

卓話者: 森 和実君

ロータリーソング「四つのテスト」

演 題: 「市政について」

前 回 第2031回 2012年10月19日(金) 記 録

- 齊 唱: 「奉仕の理想」
- ゲスト: 独立行政法人 国立病院機構 東尾張病院
院長 舟橋 龍秀様 (当クラブ会員)
事務長 渡辺 博之様
- 来訪者: 該当なし
- 出席者: 会員29名中18名出席 出席率62.07%
前々回補正出席率は10月5日分100%



△病院 視聴覚室にて例会

をいただき本日を迎えることができました。当病院関係の皆さまにはご迷惑をおかけしますがよろしくお願い申し上げます。職業奉仕、会場各委員の皆さまありがとうございました。

さて、10月13日(土)恒例の苗木配布には大変お忙しい中お手伝いいただきありがとうございました。本年は400本の「四季咲きもくせい」を市民の方々に配りました。10時15分の配布開始時には市主催のセレモニーもあり、市民祭に華をそえることができました。社会奉仕、会場各委員の皆さまには早朝より準備、設営等お疲れ様でした。その後名産大、名経短大の大学祭(オープンキャンパス)に参加し校内の施設やイベントを見学させていただきました。施設の充実ぶりには目を見張るものがあり、小生の学生時代との差を痛感しながら帰路につきました。

幹事報告

- ・本日の会合: なし
- ・次回の会合: なし
- ・例会変更のお知らせ: 別紙。

ニコボックス

- 苗木の配布。早朝よりお疲れ様でした。
社会奉仕委員長 福岡 健君
- 東尾張病院の皆さま方には大変お世話になります。
本日出席者全員

会長あいさつ 井田 武憲

本日は独立行政法人 国立病院機構 東尾張病院での職場例会です。行事予定計画時に舟橋龍秀君(当病院長)にお願いしましたところ、快くご承諾

ロータリー財団月間

	11月 2日 (金)	11月 9日 (金)	11月16日 (金)	11月23日 (金・祝)
例 会 予 定	卓話担当者: 小柳 和之君 卓話者: " " 演 題: 「 雑 話 」	卓話担当者: ロータリー財団委員会 卓話者: 地区補助金委員長 松尾憲二郎君 (小牧RC) 演 題: 「ロータリー財団 未来の夢計画について」	卓話担当者: プログラム委員会 名古屋経営短期 大学 渡部 琢也先生、近藤 城史先生 演 題: 「東北訪問 プロジェクト報告」	法定休日のため休会
3分間 スピーチ	古橋 裕志君	唐井 仁一君	桜井 雅博君	-

職業奉仕委員会

独立行政法人 国立病院機構 東尾張病院 院長
職業奉仕副委員長 舟橋 龍秀



10月19日に職場訪問として、井田会長、櫻井幹事始め多くの皆様を私の勤務する病院にお迎えすることができました。私の職場は国立病院機構東尾張病院と

いい、精神科の専門病院です。設立当初は国立の結核療養所でしたが、結核患者の減少にともない昭和44年9月に200床の国立精神療養所に転換しました。現在は、5つの病棟（うちひとつは医療観察法による入院病棟）を擁し、全病床数は233床です。もともと結核療養所でしたから、敷地は広く、3万5千坪あります。昔は、東名高速道路のあたりまで当院の敷地だったときいています。

ところで、精神科病院にいったん入院したら場合によっては一生退院できないとお思いの方もいらっしゃるかもしれませんが、実際は、当院の平均在院日数は病院全体で157日で、一番短い病棟では、70日くらいです。今年の7月に新しい病棟が完成し、入院部門は、すべて新しい建物になりました。職員は、非常勤職員を含めて200名余りで、そのうち医師は13名、看護師は137名です。入院患者さんは統合失調症や躁うつ病のかたが大半ですが、7月に完成した病棟では、18歳未満の患者さんを受け入れる思春期ユニット12床と結核合併症の患者さんのためのユニット4床が併設されています。とくに、思春期ユニットには、自閉症などの発達障害やうつ病などの気分障害の児童でほぼ満床状態で、入院予約をいただいています。外来は、近隣のクリニックからの紹介していただいた方やインターネットのホームページを見て直接お越しになる方もいます。デイケアや訪問看護などにも力を入れ、患者さんができるだけ地域で生活できるような体制づくりに努力しているところです。

当日は時間の関係で施設をゆっくり見学していただくことができなかつたことは残念ですが、こうした機会に精神科病院を少しでも理解していただき、まだまだ十分理解されているとは言えない精神障害の啓蒙のためにお力を貸していただければ幸いです。



井田会長（左から2人目）より
舟橋院長（左から3人目）に目録贈呈。

基本方針

愛知県唯一の国立病院機構精神医療機関として、当地域の精神医療の基幹となり、精神保健福祉法および医療観察法の理念にそって精神障害者の人間性や人権を尊重した開放的な高度精神医療を推進し、

政策医療の実践と経営改善を具体的に追及していく。

具体的には、特に民間病院等との役割分担を明確にし、かつ、密接な連携しながら精神医療において他の設立主体では対応困難な領域に積極的・重点的に取り組んでいく。また、国立精神・神経センターおよび他の機構病院との密接なネットワークを組み、精神医療の先導的役割を果たしていく。

診療機能（特色）

①精神科救急および一般精神科診療において、対応の難しい重症患者の治療に積極的に取り組む。

（短期集中医療）

急性期二、三次救急、緊急措置、応急入院指定病院、精神病の急性増悪、急性心因性精神障害、アルコール症および急性薬物中毒の治療

（中長期的医療）

重症な措置患者を含む一般診療では対応の困難な重症患者の治療

（司法精神医療）

心神喪失者等資料観察法に基づく指定入院医療機関としての専門的な医療

②思春期・青年期精神障害の治療

摂食障害、不登校、人格障害、精神科的行為障害、若年発症の精神病及び神経症、若年のアルコール依存など十代前半からの精神障害を幅広く治療する。

③身体合併症の治療

総合病院精神科で対応できない重症な精神病患者の合併症の治療、特に結核を含めた内科疾患を合併する患者を中心に治療する。その他、手術を必要とする患者の術前術後、悪性症候群などを治療する。しかしながら、高度な身体的専門医療を必要とする患者は総合病院に任せ、病院間の役割を明確にしながら一層の連携を図る。

④精神科リハビリテーションの充実

精神障害者の自立と社会経済活動への参加促進および平均在院日数の短縮を目指して、真に有効なりハビリテーション技術を開発し幅広く施工する。

⑤外来・在宅医療の充実

外来診療ではデイケア、訪問看護などと組み合わせ、できる限り広範な社会的自立を援助する。併せて、外来早期治療、再発予防、ノーマライゼーションの研究を行う。

児童・思春期専門治療病床（ユニット）について

当院では、平成24年7月に運用を開始した新病院に、新たに「児童・思春期専門病床」を整備しました。

このユニットでは、県内の他施設（愛知県コロニー、愛知県小児発達医療総合センター等）が専門としている重度の発達障害や知的障害ではなく、学童期以降で言語治療が可能であり、統合失調症を中心とした内因性精神病を含む幅広い範囲の思春期・青年期精神障害者の治療に取り組んでいくこととされています。

また、当該病棟では児童・思春期精神科入院医療管理加算の施設基準を取得（専任の心理療法士・精神保健福祉士等の配置、専用の学習室や食堂の設置、看護師の10：1配置など）して運営するなど十分な治療環境を整備するとともに、愛知県・名古屋市教育委員会の協力のもと、訪問教育等により入院患者の教育環境を確保します。 -病院資料より-